

さくらがおか

区民センターニュース



第44号

平成24年9月1日

桜丘区民センター運営協議会

〒156-0054 世田谷区桜丘5-14-1

TEL 3439-0541



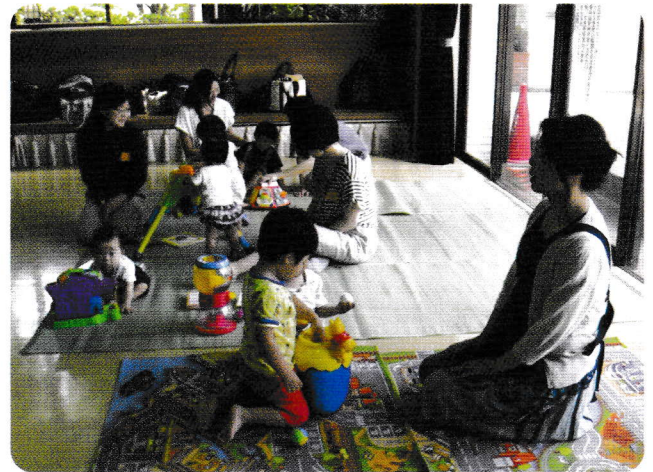
子育て支援講座も今年で7年目。サポーターのベテランママさんや児童館の協力で、音楽の流れる体育室を会場に、20名以上の親子が参加しました。

日頃育児に奮闘中のママも、この日はやはり気合いをいれて、汗をかいて、悲鳴をあげながらも楽しく体操をしました。なかなかママから離れられない、大泣きする赤ちゃんも、おんぶしてフラダンスを踊り、リズムに合わせて体を動かすと、いつの間にかスヤスヤと眠り、最後は親子でゴロンと寝転がってゆったりとストレッチ。もちろん毎回筋肉痛！

「子育てママのリフレッシュ体操」

6月13・20・27日(水)

日頃の運動不足を解消し、「リフレッシュ」でき、気持ちが前向きになれた「子どもも音楽に合わせて楽しそうに動いていた」「あまり泣かずに遊んでくれた」などの声もママたちから聞かれました。



次回予告

秋の講座は10月10・17・24日(水)です。ヨガ、エアロビクス、ストレッチ体操など盛りだくさんの内容です。是非ご参加ください。

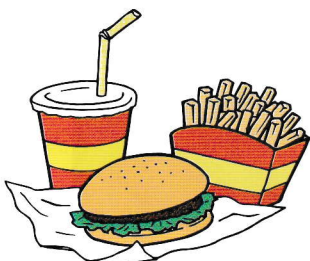
詳細は、掲示板などでお知らせする予定です。



私は、昭和29年の6月に横浜の本牧で生まれました。当時本牧には、進駐軍がいて、学校、ショッピングセンター、ガススタンド、ボーリング場、映画館など一般的なアメリカの町にあるものが揃っており、あこがれの「小さなアメリカ」でした。子どもということで大目に見てくれたのでしょう。通りすがりのアメリカ人に円をドルに換えてもらい「PX」という大きなショッピングセンターでアメリカ製のブラモデルやレコードを買っていました。また、7月4日の独立記念日には大きなお祭りがあり、バケツのように大きなアイスクリームを食べながら、ボールを的に当てるとアメリカ人の水着の女性がプールに落ちるなどという変なゲームを夢中になって見ていました。

中学生の頃になると、学校の帰りには「ボンコツ」や「ゴールデン・カップ」(「く」なつたミッキー吉野がいた)などの店に寄り、友達と話し疲れるまで、コーラやレモンスカッシュを飲んでいました。今の桜丘のみなさんには想像もできないでしょうが、私にとって「フェンスの向こう側」は、正にアメリカそのものだったのです。

(桜丘中学校長 西郷孝彦)





平成24年度
これからの

行事予告



9月～12月

※予定は変更になる場合があります。

平成24年度 桜丘区民センターまつり

11月10日(土)・11日(日) 桜丘区民センター/桜丘ホールにて

センターを利用する団体による各種活動発表のほか、フリーマーケット、模擬店、体験コーナーなど盛りだくさんな2日間です。

「昨年、妻にさそわれて、区民センターまつりに初めて行ってきました。センター2階の展示場に行くとお茶席があり、お茶の接待を受けてから展示場を見学しました。どちらも大変すばらしい作品でした。今年は、別館・桜丘ホールでカラオケ、合唱、器楽、舞台の発表を楽しむこととします。」

第12回 社交ダンス交流会

12月2日(日) 桜丘ホールにて

例年は、団体による参加のほか一般からの応募も受け付けています。今年の詳細は、実行委員会開催後に掲示などでお知らせする予定です。

桜丘まちづくり音楽祭

12月23日(日・祝) 午後3時～ 桜丘ホールにて

毎年恒例のクリスマスコンサート。この時期にぴったりなチャイコフスキー作曲のオペラ「くるみ割り人形」が、好評だった昨年に引き続いて、演出・キャストともにバージョンアップして帰ってきます！
問合せ：NPO世田谷桜丘まちづくり
TEL：3427-4181

その他の予定

◎子育てママのリフレッシュ体操

10月10・17・24(水)午前10時～ 体育室にて

◎竹で健康・竹で音楽

10月13日(土)午前10時～ 体育室にて

◎環境講座(食育)

11月開催予定

桜丘図書館からのお知らせ

講演会「(仮題)わが父 森繁久彌を語る」

12月15日(土) 午後2時～ 体育室にて

日ごろから桜丘図書館をご利用いただき、ありがとうございます。

「森繁通り」の地元・桜丘図書館では、故森繁久彌さん(俳優・世田谷区民名誉賞)に関する図書やCD約270点余りをそろえた特別コーナーを設けております。

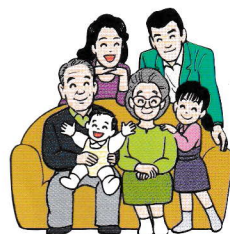
そこで、このたび森繁健さん(久彌さんの次男)による講演会を12月15日(土)午後2時から桜丘区民センター体育室で開催したいと考えております。

申込方法など詳細は、区のお知らせ11月25日号に掲載する予定です。

是非、皆さまのご来場をお待ちしております。

より親しまれる区民センターを目指して
「平成24年度地域・利用者懇談会」

6月28日(木)



日頃センターを利用するグループの代表が集まり、施設や運営に対する要望や提言、そして11月に開催される今年度のセンターまつりのあり方などをめぐって話し合いました。

展示系・舞台系・音楽系・スポーツ地域一般系という分科会ごとに意見が集約され

たところで、第2部では体育室に全員が合して合同会を開催。頭とからだをときほぐす「リラクスタイム」も交えて、様々な意見や要望が活発に練り広げられました。運営協議会では、今回の懇親会の結果を参考に、より良いセンターを目指して努力して参ります。

いろいろ...



月から約9ヶ月間改修工事を行い、2012年3月31日より再開しました。サンドウィッチやガレットのテイクアウトもできる、地下の中庭に新たにオープンしたカフェは、公園からも気軽に立ち寄り、テラスでは愛犬といっしょにコーヒーなどを楽しむことができます。砧公園を一望できるフレンチレストランとともに、美術館の新たな憩いの場として親しまれています。

9月15日からは、これまで世田谷美術館が収蔵してきた1970年以降の作品を中心に紹介する「対話する時間」展を開催します。日本の作家から海外作家まで、バラエティに富んだ内容の現代美術作品が、様々なイベントやワークショップとともに楽しめいただけます。

活動報告

健康スポーツ講座 「竹で健康・竹で音楽」

7月25日(水)

夏休みに入ったばかりのこの日、竹をテーマにした健康スポーツ講座が体育室にて開催されました。

小学生の子どもたちによる見事なバンブーダンスのデモンストレーションは、児童館で3週間ほど練習を積んだ成果だそう。音楽の拍子が変わるごとに、持ち手と踊り手の息もぴったりに、リズム感よくステップが繰り広げられました。一方の大人は、竹を動かさずに置いた状態で、まずは足を動かす練習にチャレンジ。竹製の楽器も用意された会場で、バンブーダンスを楽しむひとときとなりました。

フィリピンの代表的民族舞踊であるバンブーダンス。健康のためにも、機会があれば年齢に関係なく挑戦してみたいかがでしょうか。



歌って健康「歌声サロン」

〜疲れ知らずの熟年パワー〜

5月21日(月)

桜丘ホールに歌心塾主宰の杉山公章さんを講師にお迎えしました。生演奏が始まると即パワ―全開! 隣りの人も耳目に触れず、200人の魂の歌声が会場に響きわたりました。至福の2時間でした。



「第15回 歩こう会」

5月25日(金)

コース：桜丘区民センター→馬事公苑→都立園芸高校→長谷川町子美術館

馬事公苑のバラ園、自然林を見て、園芸高校では満開のバラ、緑の日本庭園、古い松の盆栽など自然に親しむ歩こう会でした。



馬事公苑 バラ園にて

近隣サンポ



都会のオアシス、緑豊かな砧公園の一角に位置する世田谷美術館は、1986年3月31日に開館しました。建物は、新御所などで知られる内井昭蔵による設計です。開館して25年を経て建物が傷んできたため、2011年の7



100円ワークショップ

住所	世田谷区砧公園 1-2		
交通	東急田園都市線 用賀	徒歩17分	
	美術館行バス	美術館	徒歩3分

「世田谷美術館」

利用者団体の紹介

区民センターを利用しながら社会貢献や地域との交流を深めている団体の紹介をします。毎回3団体ずつ、活動内容などを取上げていきます。また運営協議会では紹介する団体の募集もおこなっております。（詳細は事務局まで）

『軽体操ひまわり』

えっ！18年も？自主トレーニングクラブとしてテープ持参で始めた体操クラブでよく続いたと思います。

主にストレッチとレクダンスでしたが、時とともに筋力体操も取り入れ、月に1回保健センターの指導員や、NPOの元リーダーさんの指導のもと、基本的な健康づくりに励んでいます。最近では、肩こりや、ひざ痛などが改善された会員さんもあります。少人数（15〜18名）の会員数ですので和気あいあい、竹ふみダンス・脳トレ・おしゃべりも交え週に1回の実施が楽しみです。

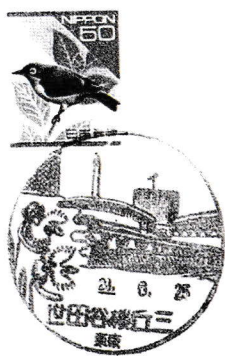
また、クリスマスが近づくとケーキとコーヒー、紅茶、1月は新年会を楽しみ親睦を深めています。会場が取れないときは、近場にお花見に行きます。ひまわりは、けやきネットで会場を取らなければなりません。2人1組で会場取りと会計を、1年間お願いしております。「これも老化防止のひとつ」かな。



『切手の友』

切手は百人百通りの集め方があり、日本の切手のみ、外国切手も集める、外国だけに限ると様々です。外国ならどこでもよい人もいれば、ある国のみに限る人もいます。文通で集める人も多く、片言英語で通じるのも趣味の世界の面白さです。ドイツ人は切手の貼り方も正確で、その封筒は捨てるに惜しい見事なものです。

日本の切手も、未使用で集める人、使用済みのみの人、動物とか、花に限る人、消印は黒丸印に限る人、日付に拘る人、発行初日の午前中の特別な印（ハト印）の封筒（初日カバー）に限る人など色々です。明治の古い消印を自慢している人、日付のゾロ目、数並びの日付に限る人など様々です。地区の名所の絵柄の消印（風景印）を日本各地に求めている人もいます。また切手に代わるメータースタンプという郵便局の窓口



世田谷桜丘三郵便局の風景印。さぎ草と美術館を描く。

の機械で発行するシール状のものを集めている人もいます。

集め方さまざまを紹介しました。興味のある方は一度是非例会にお出で下さい。

『水墨画「龍舟会」』

龍舟会は故・平島龍舟先生が某お寺にて水墨画教室を始めて約40年になります。先生が亡くなられてから場所をセンターに移して続けてまいりました。

基本にのっとり、手法を丁寧に学び、手本に沿った練習を重ね、11月の展示会に向けて各個人が花・風景等テーマを選び発表しております。



あ と が き

今号より、『さくらがおか区民センターニュース』がフルカラーにバージョンアップをいたしました。イベントや施設のご案内、利用されるみなさまのご活動を鮮やかなカラー写真とともに、より一層読みやすい紙面を目指してこれからもご紹介して参ります。どうぞよろしく願います。

編集スタッフ一同